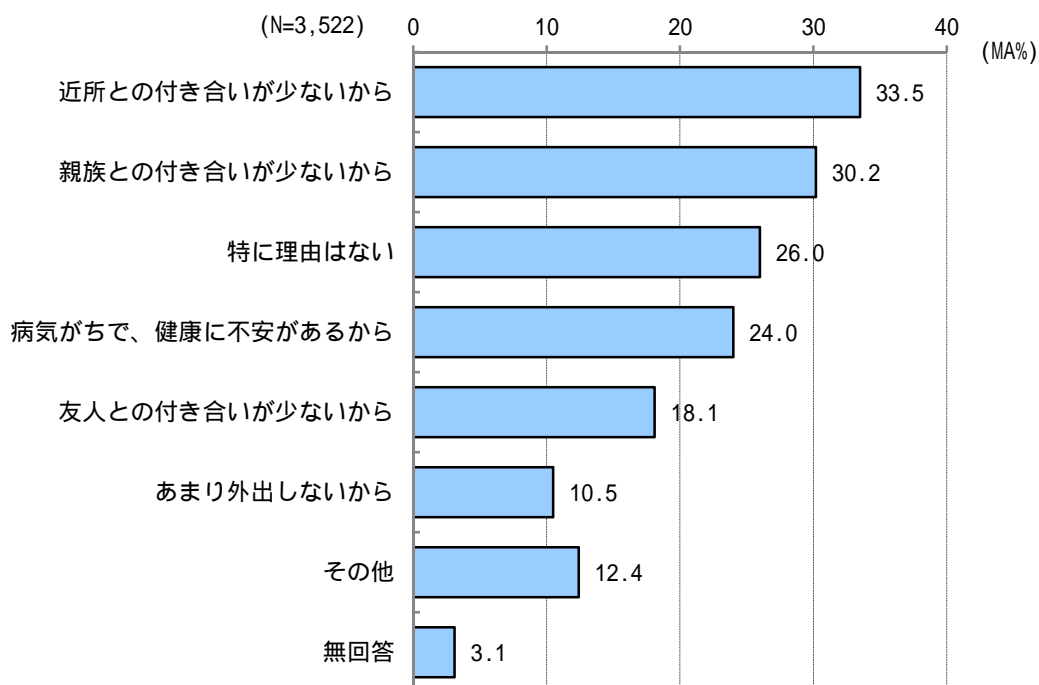


### 問36-1 孤立死を身近に感じる理由

【問36で「1～2」と回答された方におうかがいします】

あなたが身近だと感じる理由は次のどれにあたりますか。(はいいくつでも)

【図36-1 孤立死を身近に感じる理由】

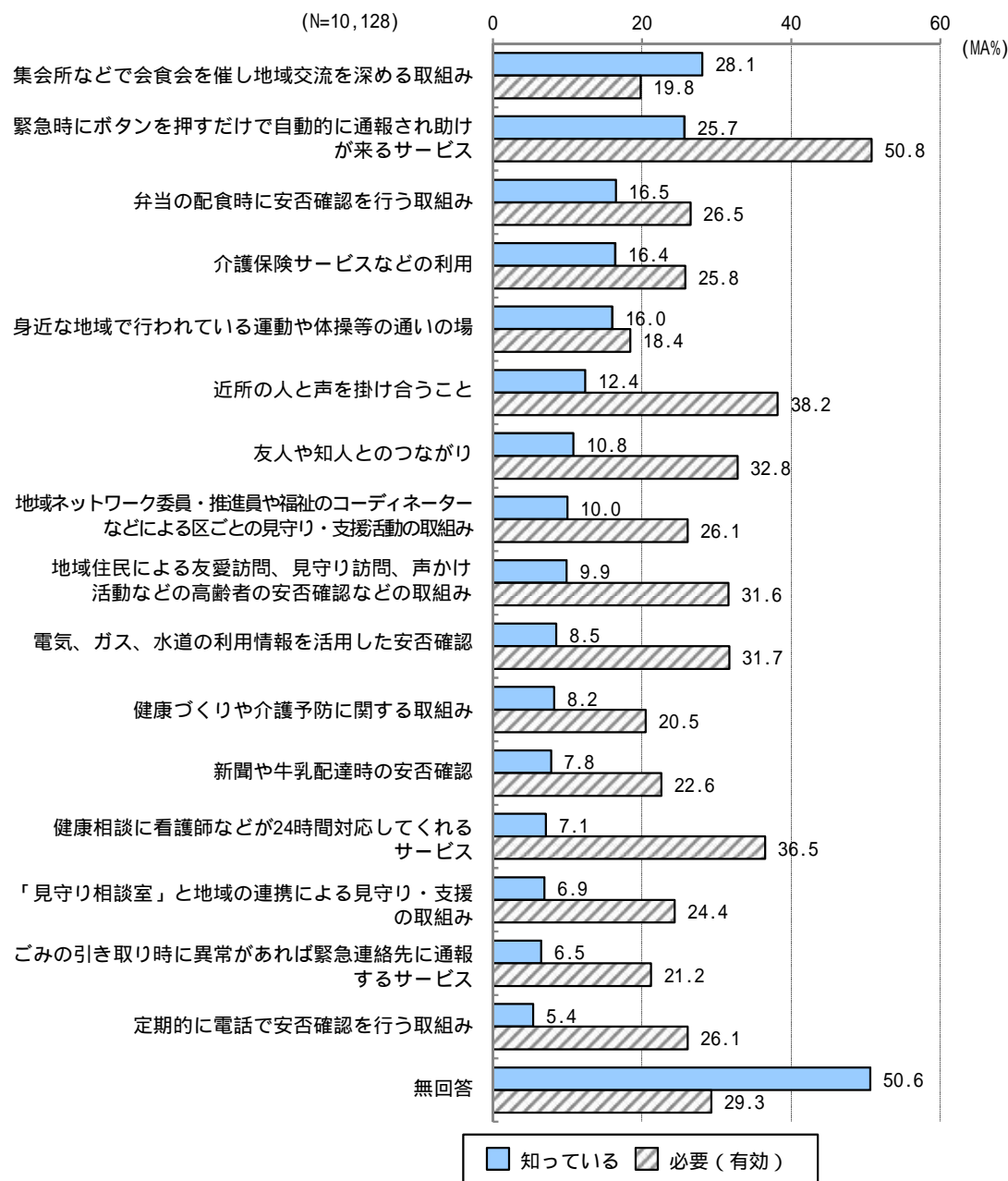


孤立死を身近に感じると回答した人に、身近に感じる理由をたずねると「近所との付き合いが少ないから」が33.5%で最も多く、次いで「親族との付き合いが少ないから」(30.2%)、「特に理由はない」(26.0%)となっている。(図36-1)

### 問37 地域での見守り活動の認知度と必要性

孤立死を防ぐためには地域での見守りが必要です。支援を必要とする高齢者等を日常的に見守るための次の取組みのうち、あなたが知っている取組み及び必要（有効）と思う取組みをつけてください。（はいいくつでも）

【図37 地域での見守り活動の認知度と必要性】



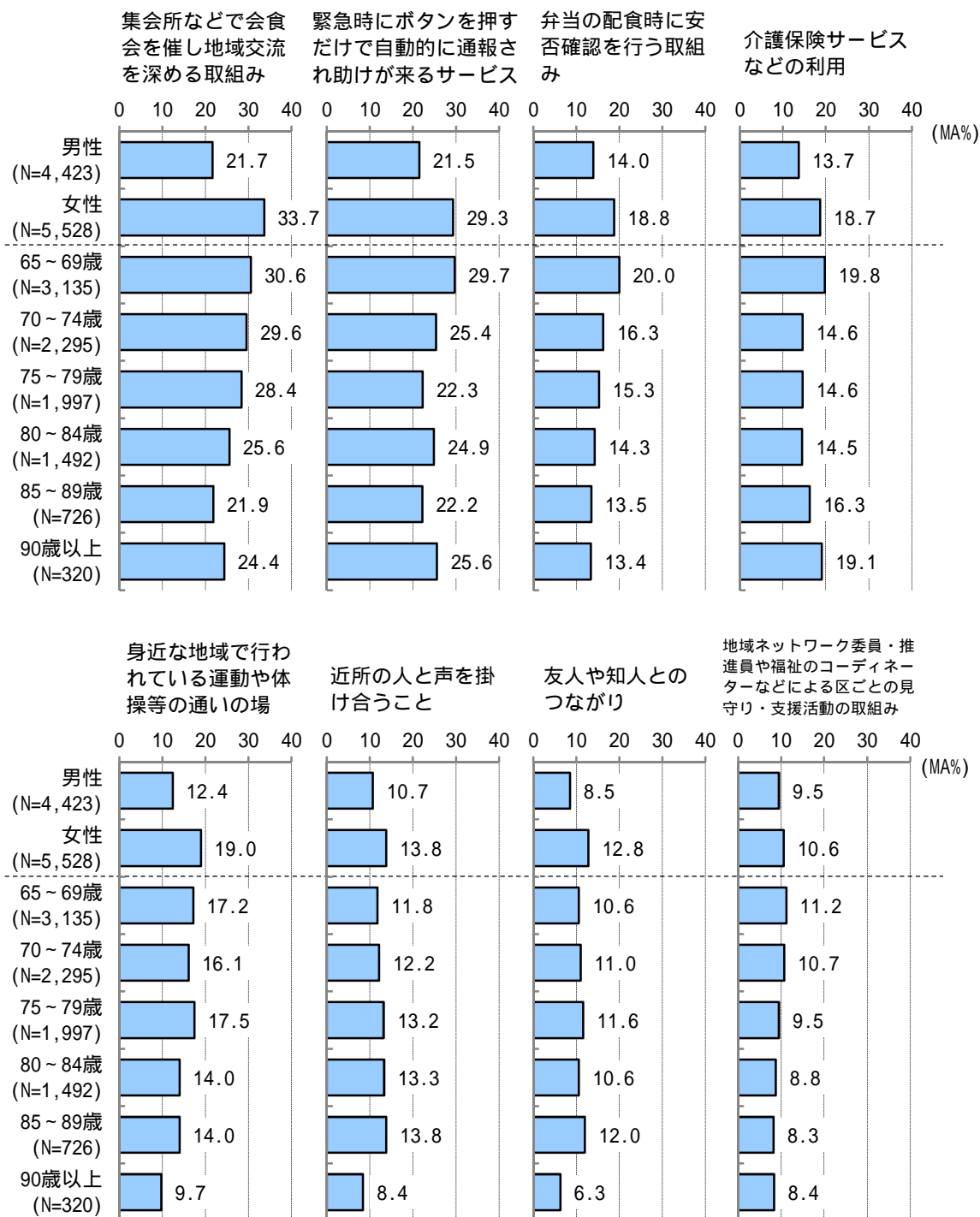
地域での見守り活動の認知度については、「集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み」が28.1%で最も多く、次いで「緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス」(25.7%)、「弁当の配食時に安否確認を行う取組み」(16.5%)となっている。

地域での見守り活動で必要（有効）と思う取組みについては、「緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス」が50.8%で最も多く、次いで「近所の人と声を掛け合うこと」(38.2%)、「健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス」(36.5%)となっている。(図37)

地域での見守り活動の認知度を性別で見ると、いずれの項目も女性の方が高い割合となっている。

年齢別で見ると、全体的に概ね年齢が高齢になるほど回答の割合が低い。(図37-a)

【図37-a 地域での見守り活動の認知度(性別・年齢別)(上位項目)】



地域での見守り活動の認知度を居住区別で見ると、西成区を除いたすべての区で「集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み」と「緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス」が上位2項目にあげられている。西成区では「緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス」が最も多く、次いで「弁当の配食時に安否確認を行う取組み」となっている。(表37-b )

【表37-b 地域での見守り活動の認知度（居住区別・上位5項目）】

(単位：MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
北区 (N=454)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 30.0	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 26.4	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 23.6	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 17.2	介護保険サービスなどの利用 14.8
都島区 (N=417)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 26.9	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 25.9	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 14.9	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 14.6	近所の人と声を掛け合うこと 12.5
福島区 (N=427)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 29.7	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 23.9	介護保険サービスなどの利用 18.0	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 17.1	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 14.3
此花区 (N=381)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 26.5	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 25.7	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 19.7	介護保険サービスなどの利用 15.7	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 12.3
中央区 (N=415)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 21.9	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 20.7	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 14.9	介護保険サービスなどの利用 12.5	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 12.0
西区 (N=428)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 30.4	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 25.9	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 18.7	介護保険サービスなどの利用 17.3	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 13.3
港区 (N=419)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 25.1	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 21.2	介護保険サービスなどの利用 15.5	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 13.8	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 12.9
大正区 (N=397)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 31.0	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 28.0	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 21.7	介護保険サービスなどの利用 / 身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 19.4	
天王寺区 (N=438)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 34.7	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 24.7	介護保険サービスなどの利用 18.0	弁当の配食時に安否確認を行う取組み / 身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 15.8	
浪速区 (N=397)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 23.9	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 23.2	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 16.4	介護保険サービスなどの利用 15.9	近所の人と声を掛け合うこと 13.6
西淀川区 (N=395)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 23.5	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 22.0	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 16.5	介護保険サービスなどの利用 13.7	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 10.4
淀川区 (N=387)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 25.6	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 24.0	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 16.3	介護保険サービスなどの利用 15.2	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 13.2
東淀川区 (N=414)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 30.2	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 26.6	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 17.9	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 16.9	介護保険サービスなどの利用 14.0

【表37-b 地域での見守り活動の認知度（居住区別・上位5項目）】

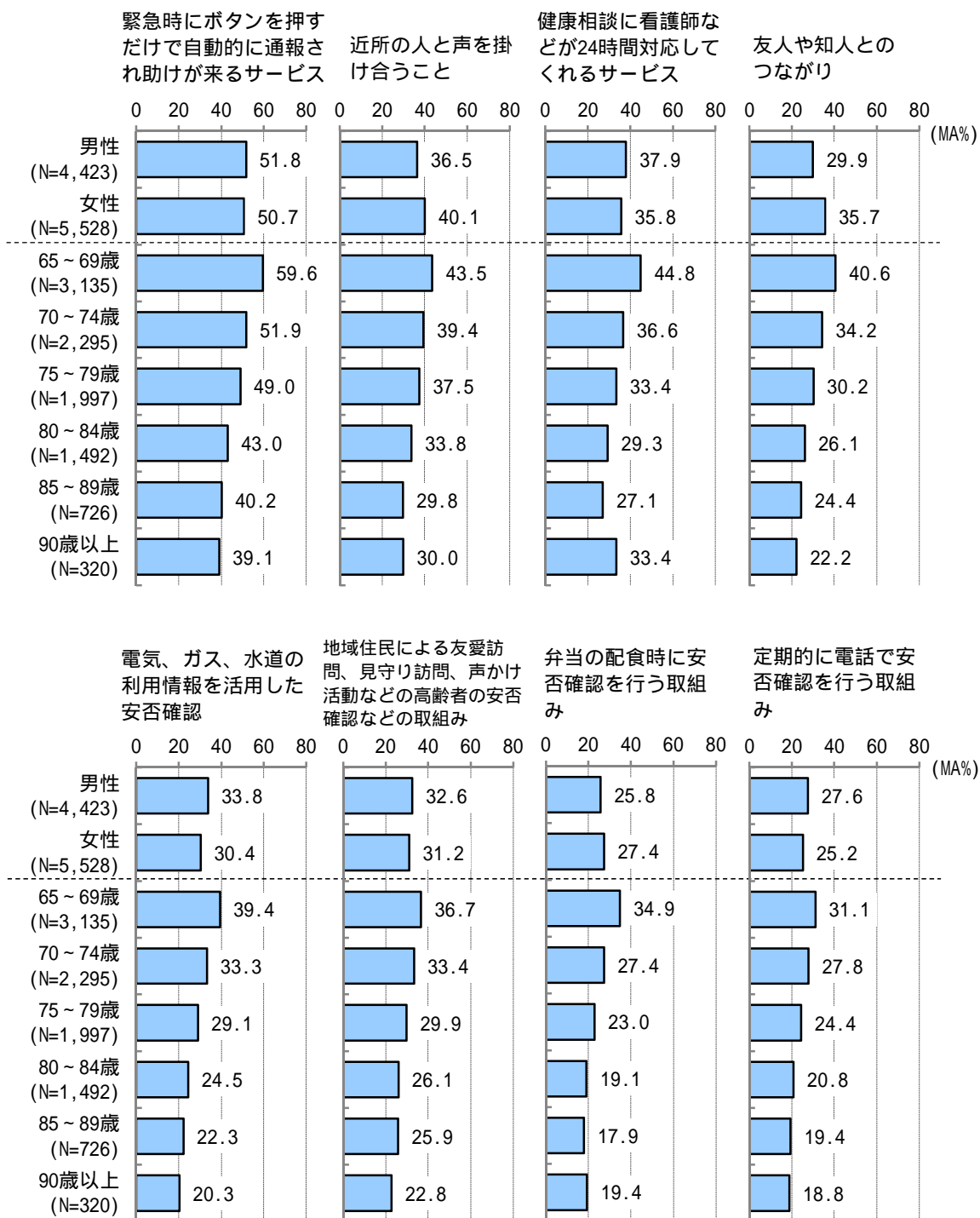
（単位：MA%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
東成区 (N=412)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 29.6	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 26.9	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 20.6	介護保険サービスなどの利用 15.8	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 13.8
生野区 (N=417)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 28.3	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 26.6	介護保険サービスなどの利用 19.7	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 15.3	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 14.4
旭区 (N=422)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 31.0	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 30.1	介護保険サービスなどの利用 22.3	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 18.5	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 17.8
城東区 (N=462)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 34.2	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 26.4	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 20.1	介護保険サービスなどの利用 19.9	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 14.9
鶴見区 (N=397)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 35.0	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 31.0	介護保険サービスなどの利用 17.9	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 17.9	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 17.1
阿倍野区 (N=417)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 27.3	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 26.1	介護保険サービスなどの利用 16.8	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 16.1	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 13.4
住之江区 (N=428)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 35.7	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 25.9	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 20.1	介護保険サービスなどの利用 19.6	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 17.3
住吉区 (N=412)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 25.5	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 20.4	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 15.5	介護保険サービスなどの利用 12.1	近所の人と声を掛け合うこと 11.4
東住吉区 (N=441)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 29.3	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 26.1	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 18.6	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 16.3	介護保険サービスなどの利用 15.4
平野区 (N=422)	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 33.2	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 28.7	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 19.4	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 17.8	介護保険サービスなどの利用 16.6
西成区 (N=382)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 22.0	弁当の配食時に安否確認を行う取組み 20.9	集会所などで会食会を催し地域交流を深める取組み 19.9	介護保険サービスなどの利用 16.2	身近な地域で行われている運動や体操等の通いの場 14.4

地域での見守り活動の必要性を性別で見ると、男女とも同様の傾向であり、大きな差はみられない。

年齢別で見ると、いずれの項目も65～69歳が最も高く、高齢になるほど割合が低くなる傾向にある。(図37-c)

【図37-c 地域での見守り活動の必要性(性別・年齢別)(上位項目)】



地域での見守り活動の必要性を居住区別で見ると、すべての区で「緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス」が最も多く、天王寺区が59.8%で最も高い割合となっている。(図37-d )

【図37-d 地域での見守り活動の必要性(居住区別・上位5項目)】

(単位:MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
北区 (N=454)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 54.8	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 42.5	近所の人と声を掛け合うこと 39.6	友人や知人とのつながり 38.3	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 33.5
都島区 (N=417)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 50.4	近所の人と声を掛け合うこと 40.0	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 37.2	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 34.5	友人や知人とのつながり 34.3
福島区 (N=427)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 55.7	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 39.1	近所の人と声を掛け合うこと 36.8	友人や知人とのつながり 33.7	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 33.5
此花区 (N=381)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 48.6	近所の人と声を掛け合うこと 36.5	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 32.8	友人や知人とのつながり 30.2	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 29.4
中央区 (N=415)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 52.0	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 42.2	友人や知人とのつながり 37.8	近所の人と声を掛け合うこと 37.6	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 31.3
西区 (N=428)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 54.7	近所の人と声を掛け合うこと 38.8	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 36.9	友人や知人とのつながり 35.0	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 32.0
港区 (N=419)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 50.4	近所の人と声を掛け合うこと 36.5	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 32.0	友人や知人とのつながり 29.1	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 28.6
大正区 (N=397)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 45.3	近所の人と声を掛け合うこと 42.6	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 34.5	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 33.0	友人や知人とのつながり 32.7
天王寺区 (N=438)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 59.8	近所の人と声を掛け合うこと 41.8	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 40.9	友人や知人とのつながり 39.3	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 36.8
浪速区 (N=397)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 50.6	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 41.1	近所の人と声を掛け合うこと 36.0	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 35.3	友人や知人とのつながり 34.5
西淀川区 (N=395)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 49.1	近所の人と声を掛け合うこと 39.7	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 34.4	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 33.9	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 33.7
淀川区 (N=387)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 53.2	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 39.3	近所の人と声を掛け合うこと 38.5	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 36.2	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 35.1
東淀川区 (N=414)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 51.0	近所の人と声を掛け合うこと 39.4	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 36.2	友人や知人とのつながり 33.6	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 33.6

【図37-d 地域での見守り活動の必要性（居住区別・上位5項目）】

（単位：MA%）

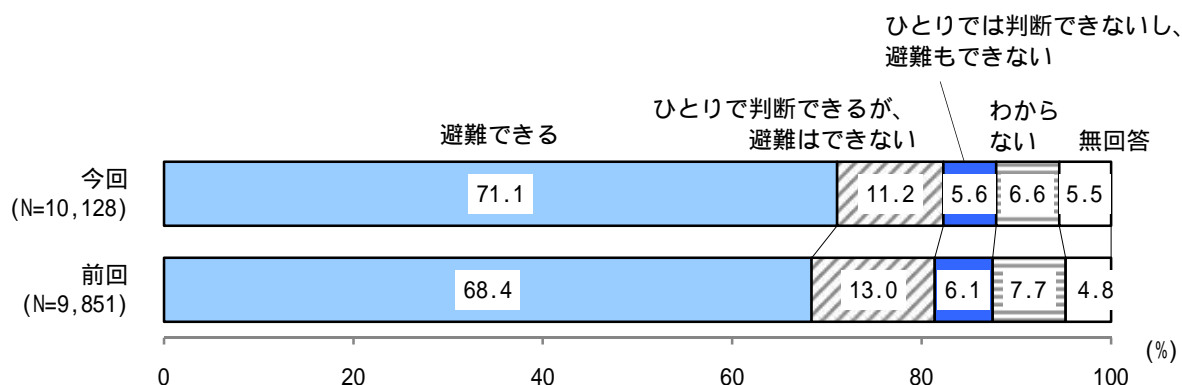
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
東成区 (N=412)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 49.5	近所の人と声を掛け合うこと 39.3	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 38.1	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 31.1	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 30.8
生野区 (N=417)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 48.2	近所の人と声を掛け合うこと 37.2	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 35.0	友人や知人とのつながり 31.9	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 30.0
旭区 (N=422)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 53.3	近所の人と声を掛け合うこと 39.8	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 36.0	友人や知人とのつながり 34.4	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 33.6
城東区 (N=462)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 51.7	近所の人と声を掛け合うこと 40.5	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 37.4	友人や知人とのつながり 34.0	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 32.5
鶴見区 (N=397)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 48.6	近所の人と声を掛け合うこと 40.8	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 35.8	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 34.3	友人や知人とのつながり 32.5
阿倍野区 (N=417)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 52.8	近所の人と声を掛け合うこと 34.8	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 33.8	友人や知人とのつながり 33.3	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 32.6
住之江区 (N=428)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 53.3	近所の人と声を掛け合うこと 41.4	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 40.4	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 37.4	友人や知人とのつながり 35.7
住吉区 (N=412)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 48.3	近所の人と声を掛け合うこと 34.5	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 34.5	電気、ガス、水道の利用情報を活用した安否確認 28.9	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 28.4
東住吉区 (N=441)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 50.6	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 38.3	近所の人と声を掛け合うこと 33.8	友人や知人とのつながり 30.6	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 29.3
平野区 (N=422)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 50.0	近所の人と声を掛け合うこと 41.2	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 34.4	友人や知人とのつながり 33.2	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 32.9
西成区 (N=382)	緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス 43.7	近所の人と声を掛け合うこと 35.6	地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動などの高齢者の安否確認などの取組み 30.1	健康相談に看護師などが24時間対応してくれるサービス 29.3	友人や知人とのつながり 27.0



問38 災害時・緊急時にひとりで避難が可能か

あなたは、災害時や緊急時にひとりで避難することができますか（ はひとつ）

【図38 災害時・緊急時にひとりで避難が可能か】



災害・緊急時の避難については、「避難できる」との回答が71.1%で最も多い。一方、「ひとりで判断できるが、避難はできない」と「ひとりでは判断できないし、避難もできない」をあわせた『避難できない』は、16.8%となっている。

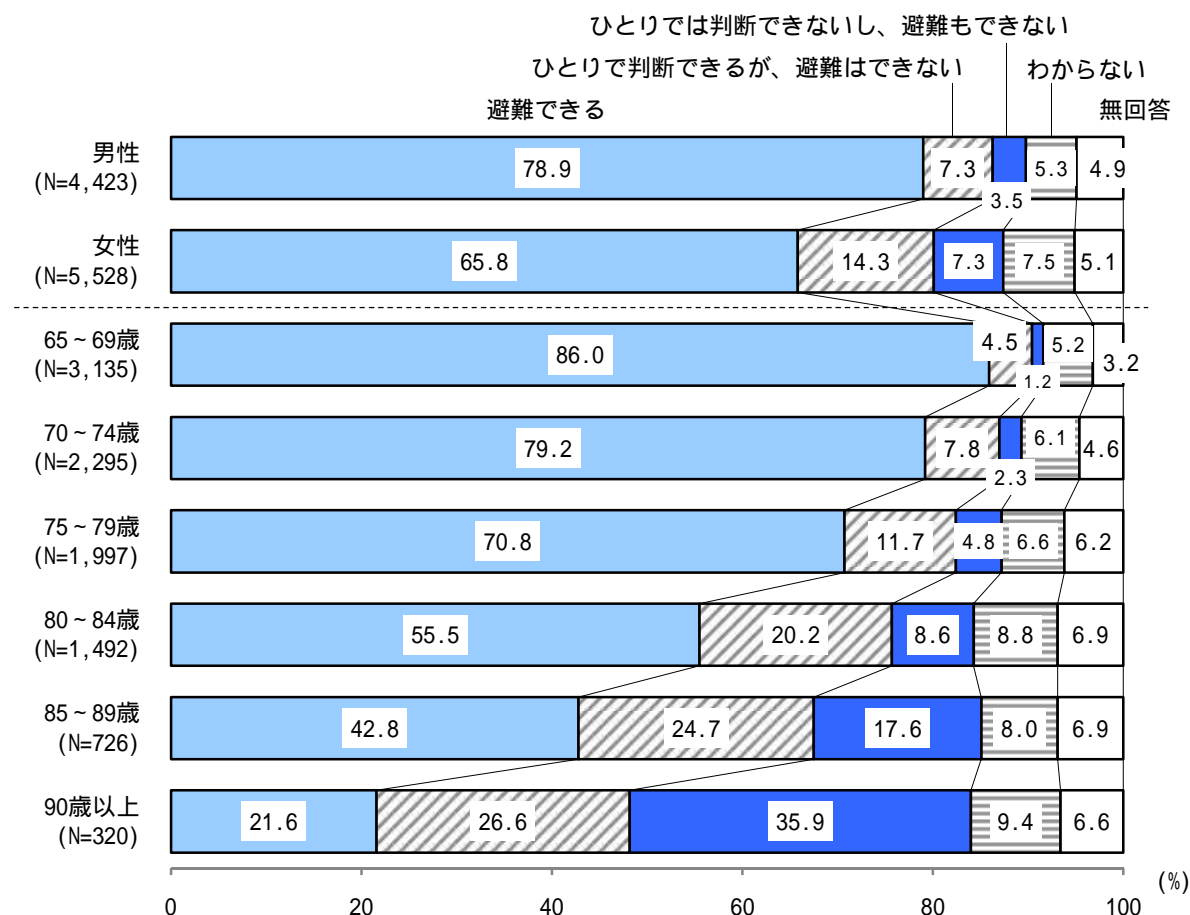
前回調査と比較すると、「避難できる」は前回より2.7ポイント高くなっている。（図38）

性別でみると、女性の方が「避難できる」割合が少なく、困難を感じている傾向がみられる。

年齢別では、高齢になるほど災害時・緊急時に困難を感じている傾向が高くなっている。

（図38-a）

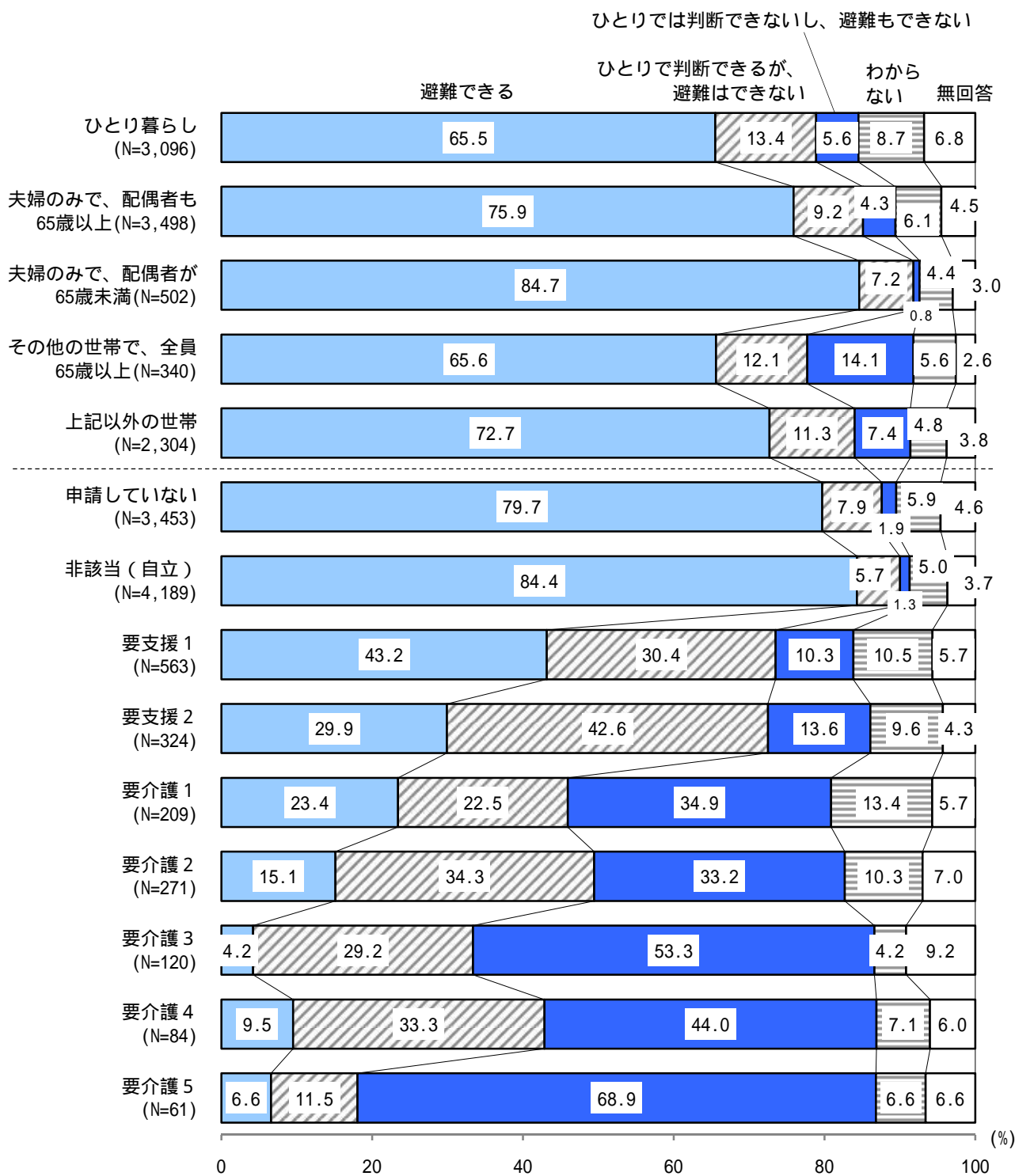
【図38-a 災害時・緊急時にひとりで避難が可能か（性別・年齢別）】



世帯状況別で見ると、「避難できる」は“夫婦のみで、配偶者が65歳未満”の世帯が84.7%で最も高く、『避難できない』は“その他の世帯で、全員65歳以上”の世帯が26.2%で最も高い。

介護度別で見ると、「避難できる」は非該当（自立）が84.4%で最も高く、要介護3～5では1割に満たない。（図38-b）

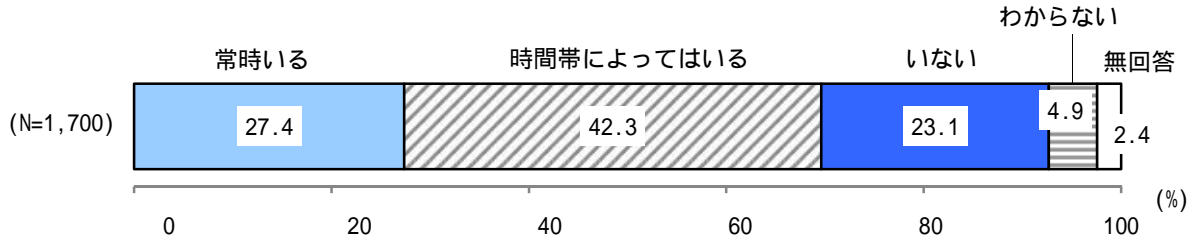
【図38-b 災害時・緊急時にひとりで避難が可能か（世帯状況別・介護度別）】



問38-1 手助けを頼める人の有無

【問38で「2～3」とお答えの方におうかがいします。  
 災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。（はひとつ）

【図38-1 手助けを頼める人の有無】

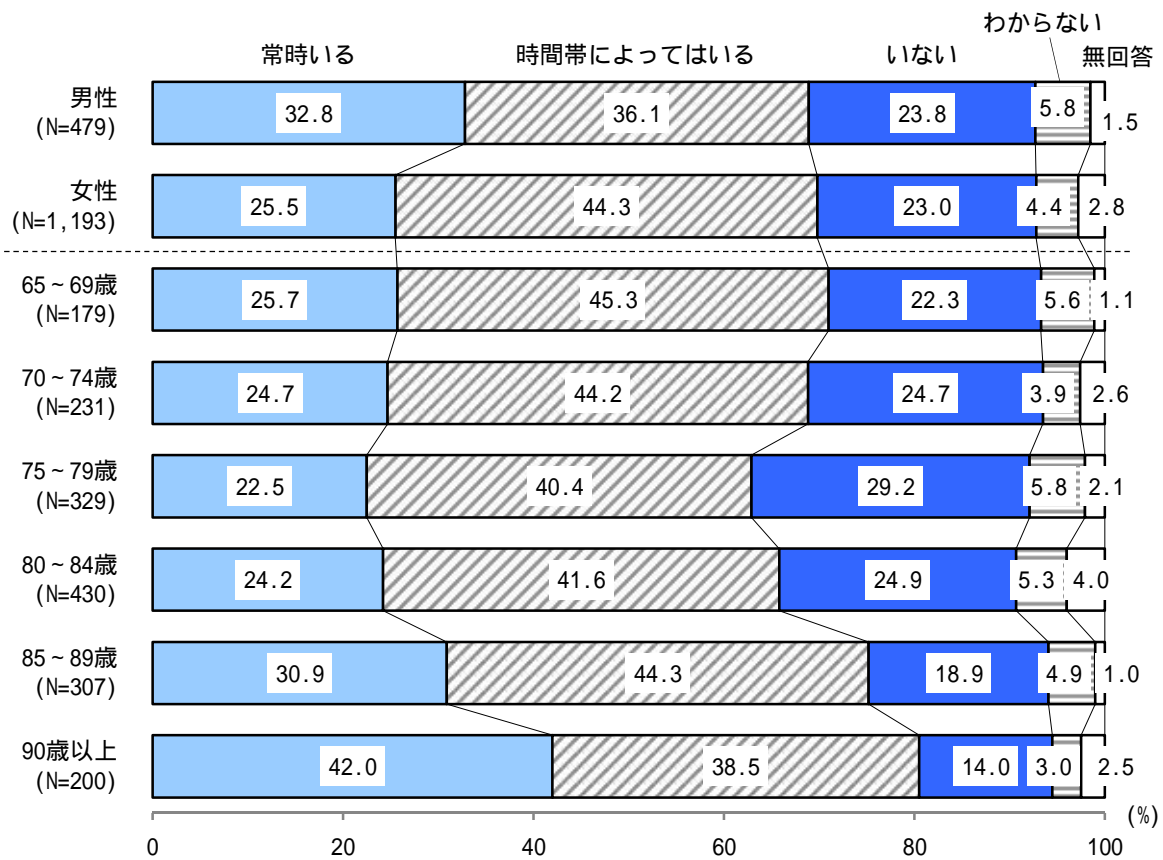


ひとりで避難ができないと回答した人に、手助けを頼める人の有無についてたずねると、「常時いる」(27.4%)と「時間帯によってはいる」(42.3%)をあわせた『手助けを頼める人がいる』割合は69.7%となっている。(図38-1)

性別でみると、男女で同様の傾向となっており、大きな差はみられない。

年齢別でみると、『手助けを頼める人がいる』割合は75～79歳(62.9%)で最も低く、80歳以降年齢が上がるほど割合が高くなり、90歳以上が80.5%で最も高くなっている。(図38-1-a)

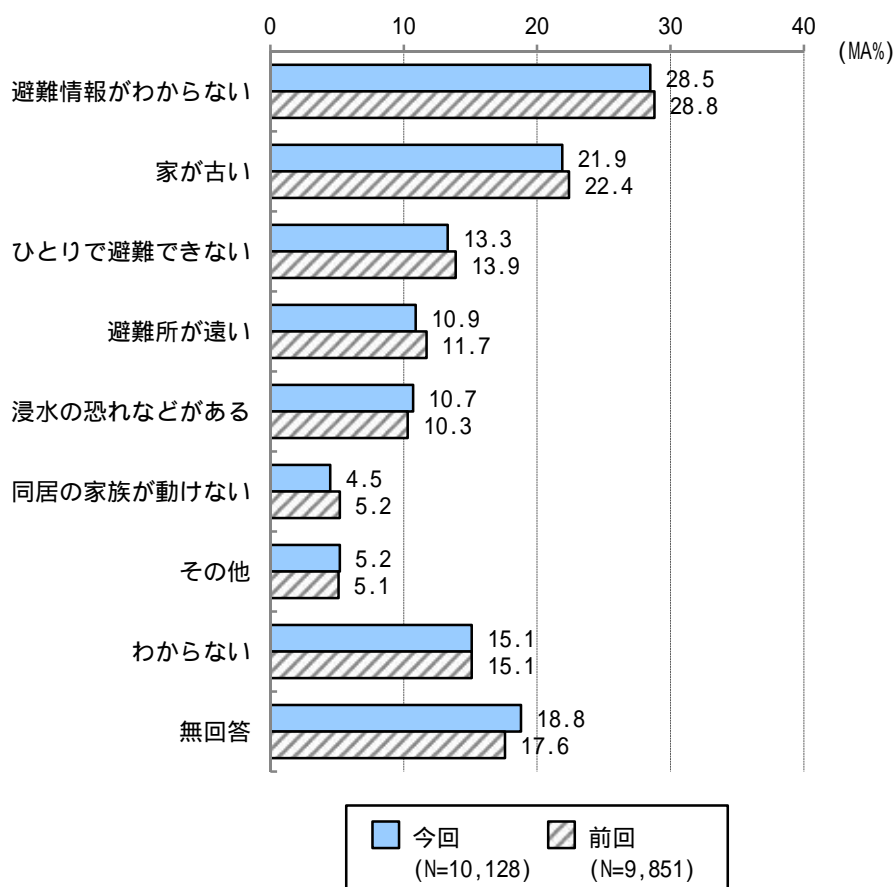
【図38-1-a 手助けを頼める人の有無(性別・年齢別)】



問39 災害時の心配事

あなたは、災害が起きた時の心配事がありますか。( はいいくつでも )

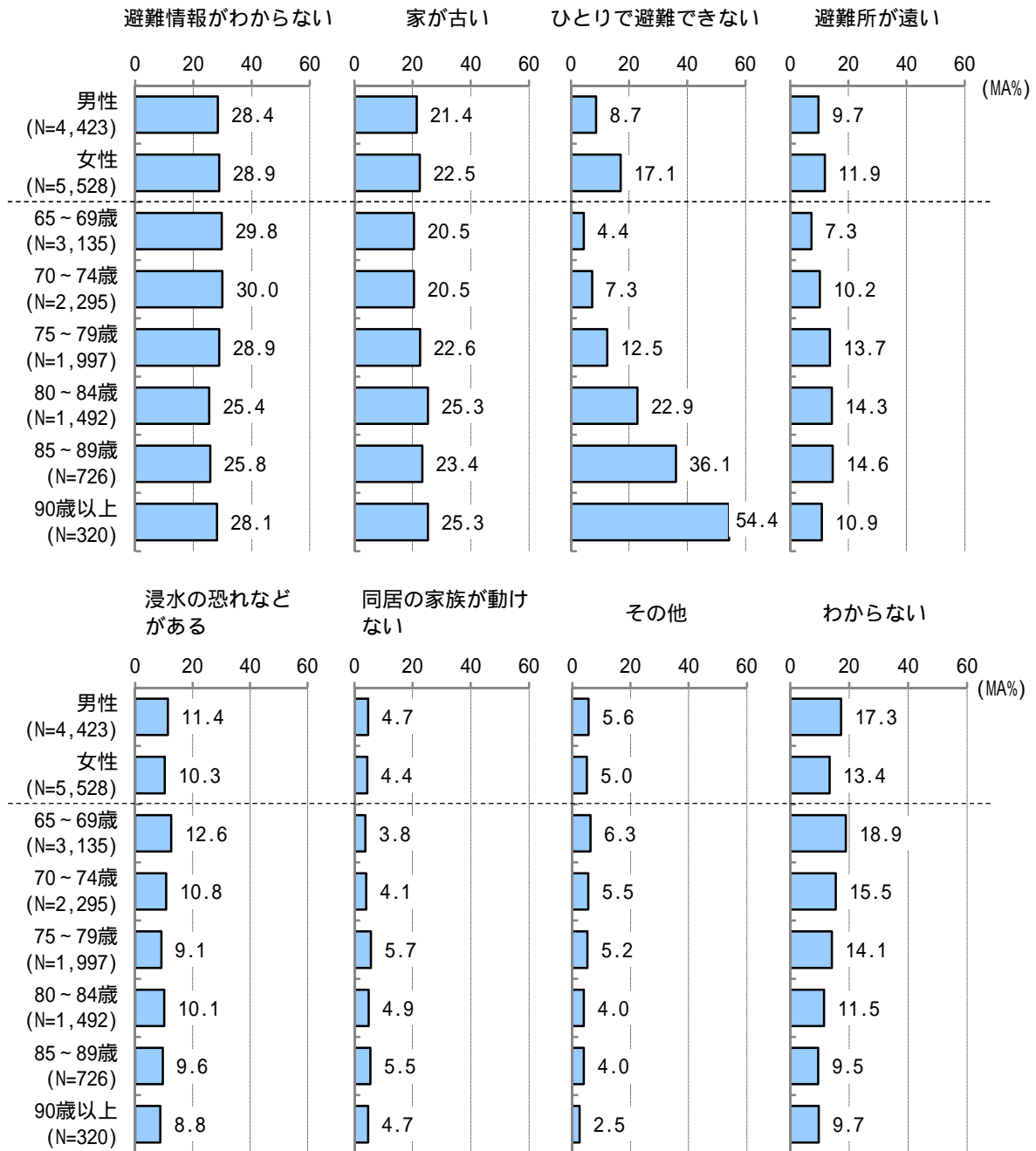
【図39 災害時の心配事】



災害時の心配事については、「避難情報がわからない」が28.5%で最も多く、次いで「家が古い」(21.9%)、「ひとりで避難できない」(13.3%)となっている。  
 前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図39)

性別で見ると、「ひとりで避難できない」の回答割合は女性の方が高くなっている。  
 年齢別で見ると、「ひとりで避難できない」の回答割合は高齢になるほど高くなっている。  
 (図39-a)

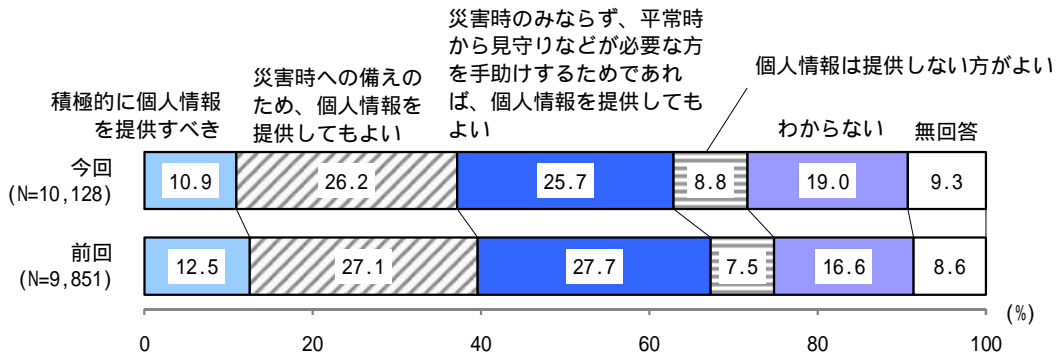
【図39-a 災害時の心配事(性別・年齢別)】



問40 個人情報の地域団体等への提供についての考え

あなたは、市が保有する高齢者の個人情報（氏名・住所など）を、町会や地域活動協議会など地域の見守り活動を行う組織に提供することについて、どのように感じますか。（はひとつ）

【図40 個人情報の地域団体等への提供についての考え】



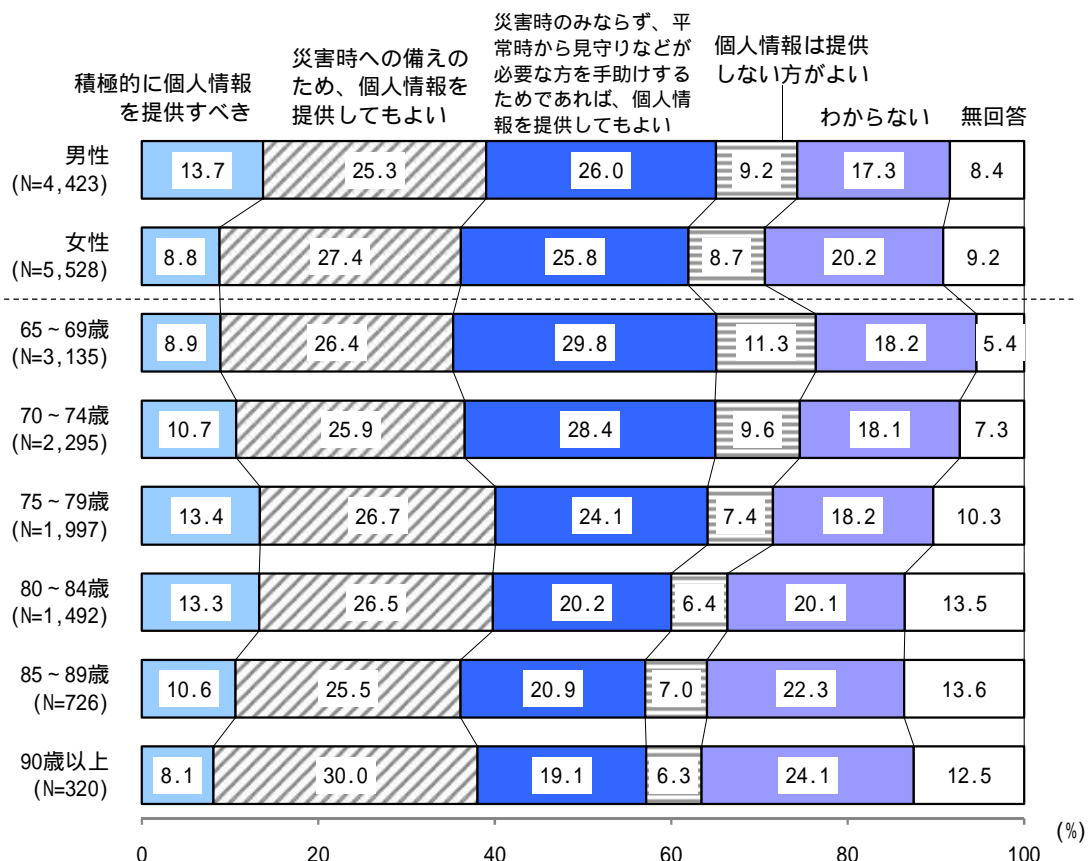
個人情報の提供については、「災害時への備えのため、個人情報を提供してもよい」が26.2%と最も多い。「積極的に個人情報を提供すべき」(10.9%)、「災害時への備えのため、個人情報を提供してもよい」(26.2%)、「災害時のみならず、平常時から見守りなどが必要な方を手助けするためであれば、個人情報を提供してもよい」とをあわせた『個人情報を提供してもよい』との回答が6割以上となっている。

前回調査と比較すると、『個人情報を提供してもよい』は前回より4.5ポイント低くなっている。(図40)

性別でみると、『個人情報を提供してもよい』の回答割合は男性の方が高くなっている。

年齢別でみると、『個人情報を提供してもよい』の回答割合は65～69歳が最も高く、65～84歳までは6割台となっている。(図40-a)

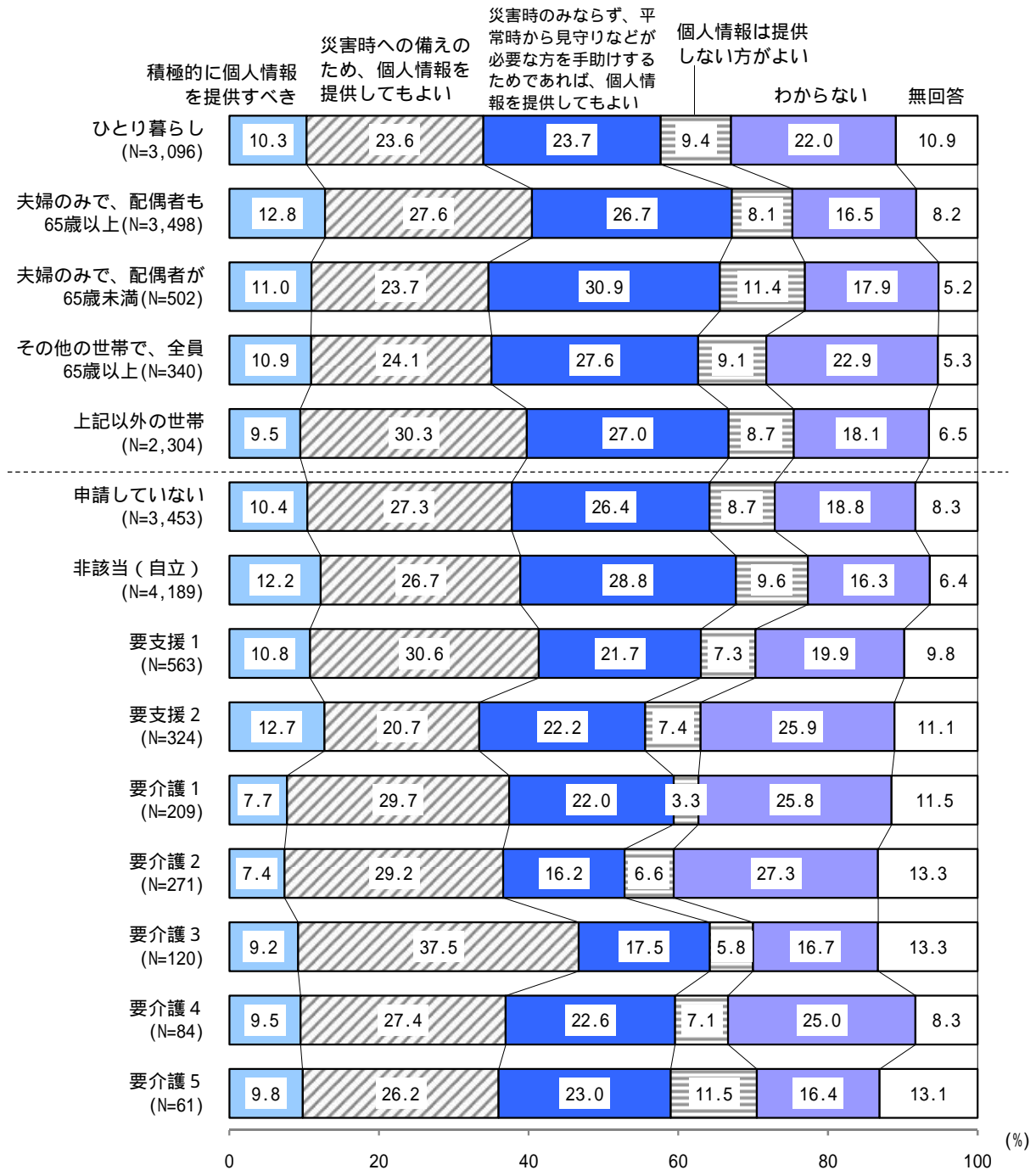
【図40-a 個人情報の地域団体等への提供についての考え（性別・年齢別）】



世帯状況別でみると、『個人情報を提供してもよい』の回答割合は“ひとり暮らし”世帯以外では6割を超えている。

介護度別でみると、『個人情報を提供してもよい』の回答割合は非該当（自立）が67.7%で最も高く、どの区分でも『個人情報を提供してもよい』の回答割合が5割を超えている。（図40-b）

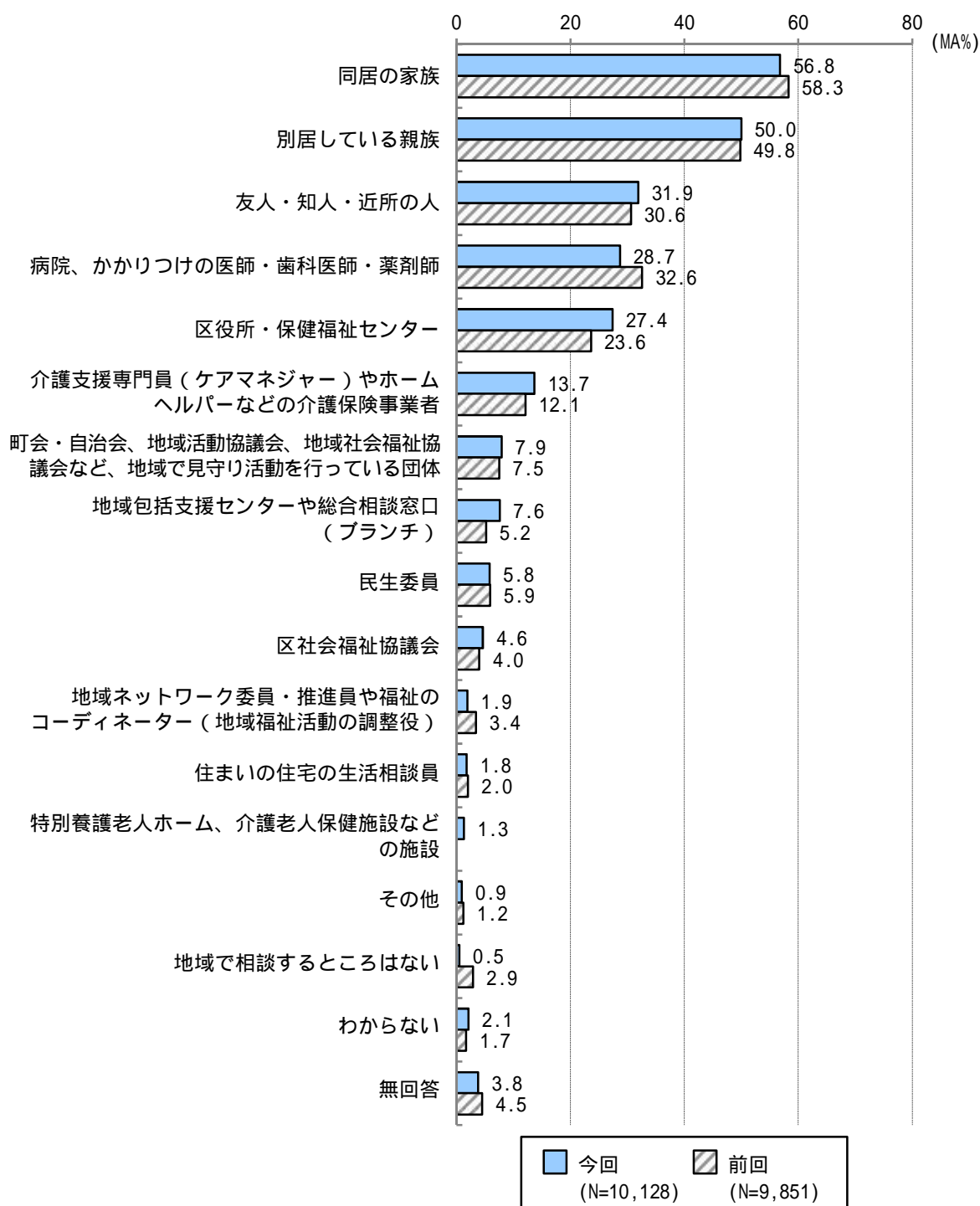
【図40-b 個人情報の地域団体等への提供についての考え（世帯状況別・介護度別）】



問41 困ったときの相談相手

あなたは、困ったときにどちらに相談されますか。(はいいくつでも)

【図41 困ったときの相談相手】



困った時の相談相手については、「同居の家族」が56.8%で最も多く、次いで「別居している親族」(50.0%)、「友人・知人・近所の人」(31.9%)となっている。

前回調査と比較すると、「区役所・保健福祉センター」は前回より3.8ポイント高いが、「病院、かかりつけの医師・歯科医師・薬剤師」は3.9ポイント低くなっている。(図41)



性別で見ると、「同居の家族」、「区役所・保健福祉センター」の回答割合は男性の方が高く、「別居している親族」、「友人・知人・近所の人」は女性の方が特に高くなっている。

年齢別で見ると、「友人・知人・近所の人」、「区役所・保健福祉センター」の回答割合は高齢になるほど低く、「介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者」は高齢になるほど高くなっている。(図41-a)

【図41-a 困ったときの相談相手(性別・年齢別)(上位項目)】

